

在上海東亞同文書院調查

(第八輯)

中國經濟全書

東亞同文會發行

中國經濟全書 (全十二冊)

著者：東亞文會

發行所：南天書局有限公司

登記證字號：行政院新聞局局版臺業字第 四二六號

出版者：南天書局有限公司

台北市羅斯福路三段二八三巷14弄14號

電話 (Tel) : (011) 3610119

傳真 (Fax) : (011) 3613334

郵政劃撥帳戶：〇一〇八〇五三一八號

印刷者：國順印刷有限公司

板橋市中正路二一六巷2弄13號

中華民國七十八年三月影印

SOUTHERN MATERIALS CENTER, INC.

P.O. Box 13-342 Taipei, Republic of China.

中國經濟全書卷頭語

中國社會經濟史學之研究自一九三〇年以後即日趨發達，至第二次世界大戰結束後更有蓬勃之進展。尤其在東亞國際體制變動的國際環境下，中國的經濟發展問題備受矚目，近代中國社會經濟的調查研究，亦成爲學術研究重要之領域。無論是社會學或經濟史學的研究，俱仰賴於豐富的資料。

邇來，各地舊刊方志分別重刊，提供了豐富而詳盡的資料，但卷帙浩繁且良窳不齊，實爲美中不足。除此之外，中文方面的資料缺少有系統的全面的調查資料。

外文方面有兩種資料彌足珍貴：一是 Royal Asiatic Society 編纂的 *Journal of the North China Branch of the Royal Asiatic Society* 1858~1948 (Shanghai, Nendeln, Krans Rept. Ltd. 1967~1969)。

七三卷；一是日本滿鐵調查部出版的『滿鐵調查月報』（一九一九—一九四四年）二四卷。兩者均屬調查報告，採論文形式，內容以專題居多。

至於中國社會經濟的全面性調查報告，則仍推東亞同文會編輯的『中國經濟全書』與『中國省別全誌』爲最重要。

東亞同文會接受日本政府的巨額補助，從事「對華文化事業」，對中國社會經濟學作詳盡的調查報告，作爲日本經略中國之用，有違其設立之初所標榜「保全中國」、增進中日兩國友好關係的宗旨，但就學術觀點言，資料之豐富，頗具參考價值，迄仍爲研究中國社會、經濟等的重要寶藏。

『中國經濟全書』共十二卷，內容廣泛而詳實，舉凡財政制度、市場經濟、工商慣例、企業組織、國內外貿易等，均有詳盡之記述，可說是一套包羅萬象的經濟叢書。

總之，其內容豐富，牽涉到經濟各層面，故本叢書之再版，必能嘉惠士林，不僅治經濟史學者所必備，即社會學、中國近代史等之研究，亦裨益良多，誠爲近代中國經濟研究最佳叢書之一，爰綴數言以爲介。

中央研究院近代史研究所研究員 林明德

支那經濟全書推薦の辞

一九三〇年代から目立って發達してきた中国社会經濟史學の研究は、第二次大戰後格段の進歩を遂げつつある。とくに東アジア國際体制の変動という國際環境の下で、近代中国の社会經濟の調査研究は、今や學術研究の重要な分野を占めるに至った。社会学あるいは經濟史學の研究にとって、最も重要なことは、資料の蒐集であることはいうまでもない。

ここ数年来、清代及び民国の地方志が相前後して覆刻された。これらの膨大な資料は確かに豊富な史料を提供しているが、その内容はまちまちであり、更に佚書の多いのが惜しまれる。ましてこれ以外には、中国文の系統的な資料集類は見当らない。しかし、調査報告に関しては、なんといっても東亞同文会の編纂による「二大シリーズ」——「支那經濟全書」全十二卷および「支那省別全誌」全十八卷は斯界の白眉といふことができる。

東亜同文会は、「対華文化事業」の一環として、日本の対華政策に加担し、対清経営の宝典となすことを期して調査編纂に当たってきた。しかし、学術的立場からいえば、これら調査報告は、近代中国社会經濟の貴重な資料を提供しており、社会經濟史の研究にとっては、不可欠の資料といえる。

本シリーズは、近代中国の社会經濟全般にわたり、詳しい調査研究に基いて編纂されたもので、その内要は実に広汎で、財政制度、市場經濟、工業、商業から企業組織に至るまで巨細もろさず豊富に含んでいる。利用価値の高い資料集であることは明らかである。今回、「支那經濟全書」の覆刻出版がなされることを喜び、これらが近代中国史研究ならびに經濟史学等の各方面の研究の一層進展に必ずや貢献する所多大のことを確信して、ここに推薦する次第である。

中央研究院近代史研究所研究員 林 明 徳

支那經濟全書第八輯目次

第一編 農業

第一章 緒論	一
第二章 農業組織	二
第一節 氣候	二
第二節 地勢、地質及水利	四
第三節 農地ノ面積	二二
第四節 農業組織ノ種類	二五
第五節 耕作式	三〇
第六節 副業 附日本ニ對スル競爭力	三二
第三章 農業企業	四一
第一節 單獨企業	四一
第二節 合同企業	四二
第四章 農業金融	四八
第一節 緒言	四八

第二節 非組織的金融	四九
第三節 組織的金融	七三
第四節 積儲法	八四
第一款 隋唐ノ制	八四
第二款 宋制	八六
第三款 明制	九三
第四款 清制	九三
其一 常平倉	九三
其二 社倉	九八
其三 義倉	一〇二
第五節 結論	一〇九
第五章 農業收益	一一一
第一節 緒言	一一一
第二節 收穫	一二二
第三節 生產費	一二八
第四節 地租	一三一
第一款 田賦	一三一

第二款 羨耗	一三九
第三款 丈量及陞科	一四二
第四節 純收益	一四七
附記	一五八
一 田賦	
二 田畝ノ價格	
三 大中小農ノ割合及所有田圃數	
四 農家雇人ノ賃銀	
五 小作人ト地主ノ關係并ニ小作料	
六 農民ノ餘業	
七 肥料	
第六章 農具	一六二
第一節 緒言	一六二
第二節 灌漑器	一六三
第三節 耕耘器	一六六
第四節 收穫器	一六九
第七章 農業經理	一七〇
第一節 自作農	一七〇

第二節	管理農	一七一
第三節	分益農	一七一
第四節	小作農	一七三
第八章	農民生活狀態	一七九
第一節	緒言	一七九
第二節	衣食住	一八一
第一款	家屋	一八一
第二款	食物	一八二
第三款	衣服	一八三
第三節	勞働狀態	一八四
第一款	勞働時間及休業日	一八四
第二款	娛樂	一八五
第四節	家族	一八五
第一款	家族人數及家畜	一八五
第二款	教育及子女養育	一八六
第五節	生活程度	一八七
第一款	生活費	一八七

第二款 奢侈ノ程度 一八八

第三款 衛生其他 一八九

第九章 農民ノ社會的地位 一九〇

第二編 米 一九七

第一章 生産 一九七

第二章 集散狀況 二〇九

第一節 緒 說 二〇九

第二節 支那各港ニ於ケル支那産米輸入ノ狀況 二一一

第三節 支那各港ニ於ケル支那産米輸出ノ狀況 二一八

第四節 漢口ニ於ケル米ノ集散狀況 二一九

第五節 上海ニ於ケル米ノ集散狀況 二二三

第三章 種類、品質、用途及品位鑑定法 二三一

第一節 種類 二三一

第二節 品質 二三二

第三節 用途 二三八

第四節 品位鑑定法 二三八

第四章	取引慣習	二三九
-----	------	-----

第一節	上海ニ於ケル取引慣習	二三九
-----	------------	-----

第二節	漢口ニ於ケル取引慣習	二五一
-----	------------	-----

第五章	結論	二六〇
-----	----	-----

第三編	麥	二六九
-----	---	-----

第一章	總論	二六九
-----	----	-----

第二章	耕作法	二七一
-----	-----	-----

第一節	長江平原ニ於ケル耕作法	二七一
-----	-------------	-----

第一款	緒言	二七一
-----	----	-----

第二款	播種ノ時節	二七二
-----	-------	-----

第三款	播種方法、撰種及種子ニ對スル注意	二七二
-----	------------------	-----

第二節	北清ニ於ケル耕作法	二七七
-----	-----------	-----

第三章	收穫	二七八
-----	----	-----

第一節	收穫時期	二七八
-----	------	-----

第二節	收穫及採實ノ方法	二七九
-----	----------	-----

第三節	收穫高	二八一
-----	-----	-----

第四章 生産……………二八二

第一節 緒言……………二八二

第二節 産地及産出高……………二八三

第一款 河南省……………二八三

第二款 山東省……………二八三

第三款 直隸省……………二八四

第四款 湖北、湖南省……………二八四

第五款 江蘇、安徽省……………二八五

第五章 集散地……………二八七

第一節 上海……………二八七

第一款 上海ノ集散高……………二八七

第二款 上海ノ賣買慣習……………二八九

第一項 製粉會社ノ買込……………二八九

第二項 雜糧行ノ買込……………二九〇

第三項 原産地ヨリノ運搬販賣……………二九二

第二節 漢口……………二九三

第一款 漢口ノ集散高……………二九三

第二款 漢口ノ賣買慣習	二九四
-------------	-----

第三節 天津	二九六
--------	-----

第四節 滿洲	二九八
--------	-----

第六章 結論	二九八
--------	-----

一 商業的方面ヨリノ觀察	
--------------	--

二 農業的方面ヨリノ觀察	
--------------	--

第四編 荳、荳餅及荳油

第一章 營口地方	三〇九
----------	-----

第一節 沿革	三〇九
--------	-----

第二節 荳餅製造地ヲ論ス	三一二
--------------	-----

第一款 營口田庄台優劣論	三一二
--------------	-----

第二款 營口大連優劣論	三一五
-------------	-----

第三節 設備及製造法	三二〇
------------	-----

第一款 工場設備	三二〇
----------	-----

第一項 敷地面積	三二〇
----------	-----

第二項 工場ノ構造及配置	三二一
--------------	-----

(附圖面)

第三項	大豆破碎機械	三二二
第四項	螺旋壓搾機械	三三〇
第五項	諸機械据付	三三〇
第六項	所屬器具	三三一
第二款	荳餅製造法（油採取法）	三三三
第一項	營業者ノ注意	三三三
第二項	製造順序	三三四
第三項	豆油處分法	三三五
第四項	荳ノ性質及出油量ノ關係	三三六
第五項	製造期節ト油量ノ關係	三三七
第六項	荳餅及豆油ノ斤量	三三八
第七項	荳油性質ト其用途	三三八
第三款	新式並ニ舊式油坊ノ製造費比較	三三九
第四節	荳餅製造係員及勞働者便役法	三四六
第五節	資本並ニ其運轉ノ狀態	三五三
第六節	荳、荳餅ノ產地、產額及其他	三五六
第七節	取引狀況	三五九
第一款	油坊準備荳ノ取引	三六〇

第二款 荳類取引上ノ種別	三六一
第一項 河 倘	三六一
第二項 地 倘	三六三
第三項 集市倘	三六三
第三款 輸出諸掛	三六四
第四款 原產地ヨリ營口ニ至ル運送及運賃	三六八
第五款 油坊問屋及公會	三七一
第六款 賣買慣習及商用書式	三七三
第七款 市 價	三七八
第二章 芝罘地方	三八〇
第一節 荳及荳餅輸出入ノ狀況	三八〇
第二節 油 坊	三八二
第三節 取引狀況	三八四
第一款 市價、運賃及輸出入稅	三八四
第二款 賣買慣習	三八五
第三款 煙台公議行規	三八五
第三章 上海地方	三八六